



2月28日発売

定価:(各)1,155円(税込)

B5判/(各)116ページ

ISBN978-4-09-253669-2(小4)

ISBN978-4-09-253670-8(小5)

ISBN978-4-09-253671-5(小6)

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09253669> (小4)、[09253670](https://www.shogakukan.co.jp/books/09253670) (小5)、[09253671](https://www.shogakukan.co.jp/books/09253671) (小6)

ポケモンを集めながら漢字を学ぼう！
知育ドリル
ポケモンずかんドリル
小学4年生漢字
小学5年生漢字
小学6年生漢字
阿辻哲次・監
シリーズ累計170万部突破の大人気ドリルに、待望の高学年版が登場！今回は、小学4年～6年で習う漢字を、ポケモンと一緒に50の課題Ⅱバトルで学びます。
バトルをクリアするごとに、キラキラ光るポケモンのシールをゲット！このシールがお子さんの「やる気」のしるし。学習を進めながら付属の「ポケモンずかんボード」にシールを貼っていきます。
学習内容のまとまりごとに「まとめ」のバトルがあり、迷路やミニゲームなど、遊び要素を加えた問題で、楽しく学習に誘います。全バトルをクリアして50種類のポケモンをすべてそろえたら「ポケモンずかん」の完成です。
確かな漢字力とともに大きな達成感を得ることができます！

◆阿辻哲次(あつじ・てつじ)＜監修＞

公益財団法人 日本漢字能力検定協会 漢字文化研究所所長・京都大学名誉教授。京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了。専門は中国文化史。文化審議会国語分科会漢字小委員会委員として常用漢字表改定作業に参加した。著書多数。



2月28日発売

定価:1,650円(税込)

四六判/224ページ

ISBN978-4-09-386710-8

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386710>

◆夏川草介(なつかわ・そうすけ)

1978年、大阪府生まれ。信州大学医学部卒業。長野県にて、地域医療に従事。2009年「神様のカルテ」で第10回小学館文庫小説賞を受賞しデビュー。同作で10年本屋大賞第2位。「神様のカルテ」シリーズは三度映像化された。他の著作に「神様のカルテ2」「神様のカルテ3」「神様のカルテ0」「新章 神様のカルテ」「本を守ろうとする猫の話」「始まりの木」「臨床の藍」「レッドゾーン」「スピノザの診察室」などがある。

お前なら、きつと本を取り戻せるはずだ。
夏川草介・著
君を守ろうとする猫の話
幸崎ナナミは十三歳の中学二年生である。喘息の持病があるため、あちこち遊びに出かけるわけにもいかず学校が終わるとひとりで図書館に足を運ぶ生活を送っている。その図書館で、最近本がなくなっているらしい。館内の探索を始めたナナミは、青白く輝いている書棚の前で、翡翠色の目をした猫と出会う。
なぜ本を燃やすんですか？
「一番怖いのは、心を失うことじゃない。失った時に、誰もそれを教えてくれないこと。誰かを蹴落としたときに、それはダメだと教えてくれる友達がいないこと。つまりひとりぼっちだってこと」
ようこそ、新たな迷宮へ。



2月28日発売

定価:2,530円(税込)

A5判/176ページ

ISBN978-4-09-386717-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386717>

◆安西水丸(あんざい・みずまる)

イラストレーター／作家。1942年、東京都生まれ。日本大学芸術学部美術学科造形コース卒業。電通、ニューヨークのデザインスタジオ(ADAC)、平凡社に勤めた後、独立。広告、雑誌の表紙や挿絵、書籍の装画の他にも、小説、エッセイ、絵本、漫画などの執筆でも活躍。2014年3月19日逝去。

安西水丸、幻の未発表小説を初めて書籍化
安西水丸・著
1フランの月
ニューヨークからパリ、リスボン、マドリッド、ローマへ。イラストレーターである主人公のモノログと日本にいる恋人への手紙、そして現地でさまざまな出会い……。これまで日の目をみることもなかった幻の小説「1フランの月」(未完)を没後10年となる2024年春に初めて書籍化。「旅」をテーマにした未刊行エッセイ、イラスト、スケッチなどを加え、懐かしくも新しい、イラストレーター／作家・安西水丸の世界をこの一冊に凝縮。



2月29日発売
定価:1,870円(税込)
四六判/288ページ
ISBN978-4-09-389144-8

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09389144>

「烈女」の一生
はらだ有彩・著

酒井順子さん、ヤマザキマリさん推薦！
「熱い魂を持つ女たちが拓いた道を、私たちは決して見失ってはならない」(酒井さん)
「烈」という甲冑の下に、宿命を満身創痍で受け入れる健気な女たちの姿が見えてくる(ヤマザキさん)
歴史に名を刻んだ女性たちは、その生の中で何を思い、行動したのか。性別、人種、文化、階級——数々のステイグマの中にあつた20人の人生を、『日本のヤバい女の子』シリーズ等で注目を集める著者が独自の視点で紐解く。
「誰にも『幸福だった』とか『不幸だった』などとジャッジできない、彼女たちの人生をもっと知りたいと思ってしまう。私も今、生きているから」(はじめにより)
今を生きる私たちに強いメッセージと気づきを与えてくれる一冊です。

◆はらだ有彩(はらだ・ありさ)

テキスト、イラストレーション、テキスタイルをつくる“テキストレーター”。著書に『日本のヤバい女の子』シリーズ、『百女百様 街で見た女性たち』、『女ともだち ガール・ミーツ・ガールから始まる物語』、『ダメじゃないんじゃないんじゃない』ほか。



2月29日発売
定価:2,420円(税込)
四六判/256ページ
ISBN978-4-09-389146-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09389146>

マンガ史の空白・スタジオゼロとは？
トキワ荘の遺伝子
北見けんいちが語る巨匠たちの横顔
北見けんいち・著／小田豊二・聞き書き
長崎尚志・企画

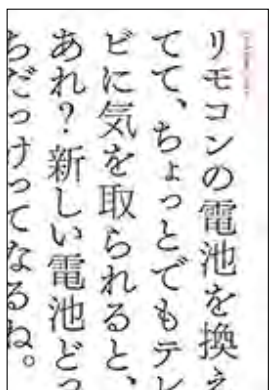
トキワ荘出身のマンガ家、藤子・F・不二雄、藤子不二雄(A)、石森石ノ森、章太郎、つのだじろう、赤塚不二夫たちが、1963年に設立したアニメ・漫画の制作会社「スタジオゼロ」。また、そのころ急成長する漫画界では、ちばてつややさいとう・たかをなどが活躍し、出版社の編集者たちもマンガに情熱を燃やしていた。
赤塚不二夫のアシスタントであつた『釣りバカ日誌』の作者北見けんいち氏が、彼らとの交流を一人一人振り返る……また、作者のマンガ家になるまでの道のり、『釣りバカ日誌』誕生秘話を、当時の編集者たちとの想い出も含め語る。
この本は、トキワ荘の遺伝子を引き継ぐ北見けんいちの、マンガ史の貴重な証言であり、マンガに人生を捧げた人々の青春物語である。

◆北見けんいち(きたみ・けんいち)

マンガ家。1940年、旧満州国新京出身。赤塚不二夫のアシスタントを経て、1979年より『釣りバカ日誌』(やまさき十三原作)を連載開始し大ヒットとなる。

◆小田豊二(おだ・とよじ)

文筆家・インタビュアー。1945年、旧満州国ハルビン市出身。代表作、中村勘九郎『勘九郎芝居話』など、聞き書きの活動を始めた。



2月29日発売
定価:1,760円(税込)
四六判/176ページ
ISBN978-4-09-389154-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09389154>

つばやきシロ―珠玉のツイート集
リモコンの電池を換えて、ちょっとでもテレビに気を取られると、あれ？新しい電池どっつぱやきシロ―著
つばやきシロ―さん、1990年代後半に独特な栃木なまりで、あるあるネタをつぶやく芸風が人気を博したお笑い芸人。
2009年から芸人としていち早くX(Twitter)を始め、ほぼ毎日のように何気ない日常のネタをつぶやく活動を続けています。
そんな地道な活動が実を結んだのか、フォロワー数は100万人突破目前。芸歴30年を迎えるつばやきシロ―さんがつぶやいたネタを厳選し、一冊にまとめました。
さらに新著のデザインを担当していただいたのが、人気ブックデザイナーの祖父江慎さん。
つばやきシロ―さんのツイートと祖父江さんのデザイン力で、どんな化学反応が生まれたのか。ぜひ、お手にとってお楽しみください。

◆つばやきシロ―
1971年、栃木県出身。1994年、ピン芸人としてデビュー。栃木訛りで繰り出す「あるある」ネタが受けブレクする。小説『イカと醤油』(宝島社)、『私はいったい、何と闘っているのか』(小学館)は、2022年に映画化もされた。本書のもととなっているXでのPOSTは、2009年9月から投稿。フォロワーは100万人ぞみ。



3月8日発売
定価:1,870円(税込)
新書判/256ページ
ISBN978-4-09-386716-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386716>

◆森本萌乃(もりもと・もえの)

1990年、東京都生まれ。株式会社MISSION ROMANTIC代表。新卒で広告代理店に入社後、外資系企業とスタートアップ二社の転職を経て2019年自身の会社を創業。本を通じて人との出会いを提供するオンライン書店・チャプターズは、オープンから2年で登録者延べ5,000名を超え、独身男女から新たな出会いの選択肢として注目を集める。

コスメ業界で働く加藤スミレは、リモートでゆるく働く毎日にとこか物足りなさを感じていた。そんなスミレにあるとき、上司から突然の「クビ」宣告が。絶望するスミレだったが、ハローワークや周囲の人の話を聞くうちに、かつて「起業したい」と感じていたことを思い出す。昔から本が大好きだったスミレ。これはもしかして「好きなことで生きていく」に挑戦できるラストチャンスでは？ 転職先も決まらず背水の陣となったスミレは、意を決して起業家の知り合いを訪ねてみるが……。

電通での勤務を経てオンライン書店「Chapter(チャプターズ)」を起業した著者が、これから起業を考える全ての日本人に贈るビジネス小説。

あすは起業日！
森本萌乃・著

人とお金と人生について学べるビジネス小説



3月15日発売
定価:1,980円(税込)
四六判/336ページ
ISBN978-4-09-380129-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09380129>

◆山崎ナオコーラ(やまざき・ナオコーラ)

作家。性別非公表。2004年にデビュー。目標は、「誰にでもわかる言葉で、誰にも書けない文章を書きたい」。他の著書に、『美しい距離』『母ではなくて、親になる』『ニセ姉妹』『ミライの源氏物語』など。日常の社会派。趣味は育児。

「あきらめる」って言葉、古語ではない意味だったんですってね。「明らかにする」が語源らしいんです」
近所の川沿いを散歩するのが日課の早乙女雄大。入院中の愛する人との残り少ない日々の過ごし方や、ある告白をきっかけに家を出てしまった家族のこと、あれこれと思い悩みながら歩いていると、親子風の二人組に出会う。
親に見える人は何やら思い詰めた表情で「自分の人生をあきらめたい」と言う……。
ふとしたきっかけで生まれた縁だったが、やがて雄大は彼らと火星に移住し、「オリンポス山」に登ることを決意する……!?
「あきらめる」ことで自らを「あきらかにしていく」——火星移住が身近になった、今よりほんの少し先のミライが舞台の新感覚ゆるSF小説。

あきらめる
山崎ナオコーラ・著

あなたは登山で頂上まで行く？途中で下りられる？



3月15日発売
定価:1,870円(税込)
四六判/354ページ
ISBN978-4-09-386713-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386713>

◆早見和真(はやみ・かずま)

1977年、神奈川県生まれ。2008年『ひゃくはち』で作家デビュー。2020年『ザ・ロイヤルファミリー』で山本周五郎賞とJRA馬事文化賞を受賞。

秋山菜々子は、神奈川で看護師をしながら一人息子の航太郎を育てていた。湘南のシニアリーグで活躍する航太郎には関東一円からスカウトが来ていたが、選り取ったのはとある大阪の新興校だった。声のかからなかった甲子園常連校を倒すことを夢見て。息子とともに、菜々子もまた大阪に拠点を移すことを決意する。不慣れた土地での暮らし、厳しい父母会の掟、激務せしていく息子。果たしてふたりの夢は叶うのか!?
補欠球児の青春を描いたデビュー作『ひゃくはち』から15年。主人公は選手から母親に変わっても、描かれるのは生きることの屈託と大いなる人生賛歌！かつて誰も読んだことのない、著者渾身の高校野球小説が開幕する。

アルプス席の母
早見和真・著

まったく新しい高校野球小説が、開幕する。



3月18日発売
定価:2,200円(税込)
A5判/160ページ
ISBN978-4-09-389150-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09389150>

◆神山恭昭(こうやま・やすあき)

1949年、愛媛県生まれ。松山市在住。自称「絵日記作家」。社会人として生活のほかに文筆のほかに絵画や彫刻など多岐にわたる活動を40年以上にわたり展開してきた芸術家。著作に「新版 絵日記 丸山住宅ものがたり」「わしの新聞」他多数。現代社会が置き忘れてしまった、小さいけれど温かく、懐かしい「しあわせ」を表現するやさやかな天才である。

作家・椎名誠が心酔する松山の奇才・神山恭昭による、人間味とユーモアあふれるイラストエッセイ集。神山は愛媛新聞連載などで愛される自称絵日記作家。本作は地方版を増補・改訂した「決定版」と言える内容になっている。

「神山さんは、まさしくほそぼそ芸術家だ。どーだまいったか、と力で押し通していくような芸術とは対極にある神山さんの世界を、たくさんの人に知ってもらいたいと思っている。椎名誠」

決定版 わしの研究
神山恭昭・著

椎名誠が心酔する「やさやかな天才」



3月19日発売
定価:1,650円(税込)
四六判/226ページ
ISBN978-4-09-386718-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386718>

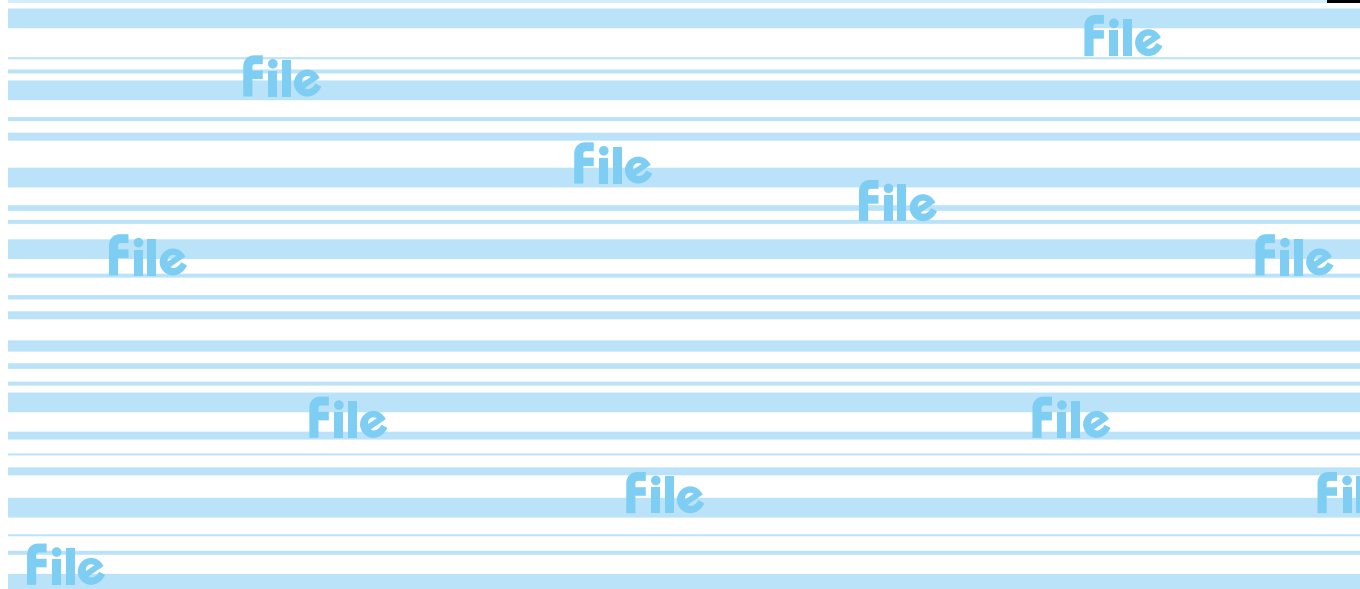
◆藤ノ木 優(ふじのき・ゆう)

産婦人科医・医学博士。2020年、第2回日本おいしい小説大賞に「まぎわのごはん」を投稿。'21年に同作を加筆修正し小説家デビュー。

明日見つむぎはごく幼い頃に父と母を亡くし、母方の親戚である奈緒に引き取られた。奈緒は義母としてつむぎを懸命に育てる一方、母と呼ばれることはかたくなに拒んでいた。ある日、病院から奈緒が倒れたと連絡が入る。急ぎ病院に駆けつけるつむぎだったが、そこで医師から奈緒が実の母親であることを告げられる。信じがたい話だったが、医師が持つカルテには、たしかにこの病院で奈緒がつむぎを出産したことが書かれていて……。18年間隠された出生の謎を追う、現役医師作家が描く庄巻の家族小説。

-196°Cのゆりかご
藤ノ木 優・著

母はなぜ、義母だと嘘をついたのか





2月28日発売
定価：7,700円(税込)
B4変／140ページ
ISBN978-4-09-682449-8

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09682449>

3・11の津波で母を失って以来、故郷陸前高田の変わりゆくさまを撮影しながらも、行き場のない思いに捕らわれていたひとりの写真家が、1本の木とレンズを通して出会い、東北三県の木々との邂逅の軌跡を一冊にまとめた大判写真集。

津波の木

島山直哉・写真・著

津波を受けつつも佇む樹木の姿に魅入られる



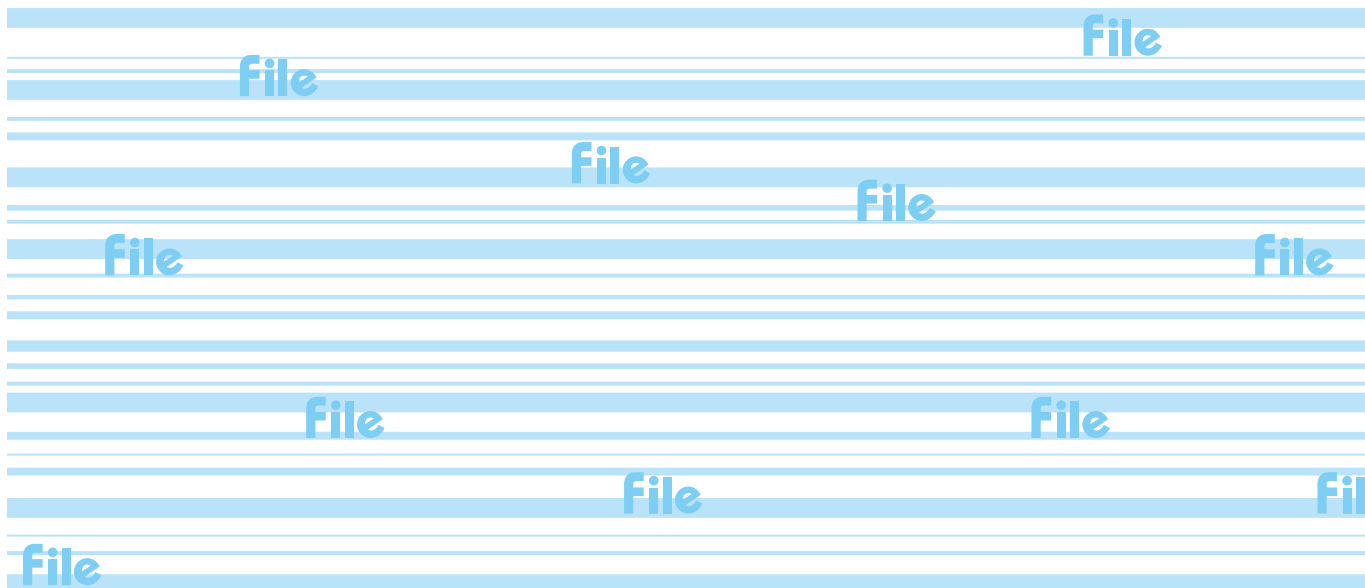
2月26日発売
定価：1,000円(税込)
B5判／96ページ
ISBN978-4-09-104006-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09104006>

新NISAのスタートとともに注目が集まる株式市場。非課税メリットを最大限享受するための投資戦略とは？ 個別株・投資信託の銘柄選びのノウハウとともに、具体的な大化け期待の銘柄をプロが伝授。

週刊ポストGOLD 新NISAで儲ける 決定版

沸騰！日本株 新NISAで株高の波に乗る



いつだって、僕らは本と生きてきた。
「P+D BOOKS」今月のラインアップ

微笑

近藤啓太郎・著

病気とは無縁だった妻・寿美が、卵巣癌で、余命いくばくもないことが判明。お世辞にも愛妻家ではなかった「私」は、その日からふり構わず治療法を探しはじめる。芥川賞作家が万感の思いを込めて綴る体験記。
定価：825円(税込) B6判／350ページ
ISBN978-4-09-352483-4
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352483>

浮草

川崎長太郎・著

いつまでたってもうだつの上がらない作家志望の捨六と、浮気癖のある若い女給・時子。なかなかお金を稼げない捨六に、業を煮やした時子は心中してくれと懇願するが……。表題作に、後日談「別れた女」を併録。
定価：660円(税込) B6判／198ページ
ISBN978-4-09-352484-1
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352484>

3月14日発売・配信(ハーバーバックとデジタルで同時、同価格)
<https://pbooks.jp>

小学館文庫

ロングプレイス、 ロングタイム

ジリアン・マカリスト・著
梅津かおり・訳

愛する夫ケリー、十八歳の息子トッドと平凡で幸せな生活を送っていた離婚弁護士ジェン。十月三十日に日付が変わったばかりの深夜、帰宅したトッドが目の前で見知らぬ男性を刺し殺してしまふ。トッドは逮捕され、呆然としながら眠りについたジェンが目覚めると、十月二十八日の朝に戻っていた。それ以降、ジェンは眠るたびに時間を遡っていく。混乱しながらも事態を把握した彼女は、何とかして息子の殺人を事前に食い止めようとするが……。「一気読み必至」「超ページターナー本」「主人公に共感」と英米で話題のタイムリープ×ミステリー×家族小説！



◆ジリアン・マカリスト
英バーミンガム出身。弁護士活動を経て2017年にデビュー。7作めにあたる本作はR・ウィザースプーン
のブッククラブで推薦されNYTベストセラー2位を獲得。全世界で売上100万部を突破。

3月6日発売
定価：1,342円(税込)
文庫／512ページ
ISBN978-4-09-407267-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407267>

小学館文庫

煩惱デスタンス 辛酸なめ子・著

人間関係がリセットされ、ソーシャルデスタンスについて考えさせられたコロナ禍の時期。経済の発展を優先させてきた人間は地球との関係を見直すべきでは？と著者は考えた。人間同士にソーシャルデスタンスという物理的な距離ができ、人間以外の万物とのデスタンスを見直すべく、著者は動き出した。まずは、動物園へ――。
観覧車に乗りながらのリモートワーク、海外の大学のオンライン講座、都会を離れた山里での田植え……密を避けながら、距離や時間、時には次元(?)をも超えて著者が見つけた、令和を生きるための「距離感」とは。



◆辛酸なめ子(しんさん・なめこ)
1974年、東京都千代田区生まれ。武蔵野美術大学短期大学部卒業。漫画家、コラムニスト、小説家、著書に『辛酸なめ子の世界恋愛文学全集』『女子校礼讃』『電車のおじさん』『大人のマナー術』など。

3月6日発売
定価：803円(税込)
文庫／336ページ
ISBN978-4-09-407336-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407336>

小学館文庫

転がる検事に 苔むさず

直島翔・著

夏の夜、若者が高架鉄道から転落し、猛スピードの車に衝突した。自殺か、他殺か。判断に迷う刑事課長は飲み友達、久我周平に助けを求めた。出せ、久我。久我は外れた久我は日の当たらぬ部署で罰金刑など軽微の事件ばかり扱う一方、遺体の検分には豊富な経験を持つ。久我は靴の傷に他者の関与を疑う。交番巡査、新人の女性検事とともに若者の身辺を探っていくと、海を越えての怪しげな高級外車の取引が浮かびあがった。法務検察内のパワーゲームにも巻き込まれながら、男の正体に迫っていく。窓際検事の逆転なるか。



◆直島翔(なおしましゅう)
1964年、宮崎市生まれ。立教大学社会学部社会学科卒業。新聞社勤務、社会部時代、検察庁など司法を担当。本作は作家デビュー。著書に『警察医の戒律』など。

3月6日発売
定価：847円(税込)
文庫／368ページ
ISBN978-4-09-407337-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407337>

小学館文庫

山に抱かれた家 はらだみずき・著

田舎暮らしの夢を叶えた父が遺してくれた「海が見える家」で暮らす文哉。旅の途中で山間にある畑付きの空き家を偶然見つける。そこは野菜作りの師匠であった今は亡き幸吉の親友、猟師の市蔵の故郷だった。しかし文哉にとっては縁もゆかりもない土地で、限界集落でもある。それでも運命を感じた文哉は空き家を買ひ、古い家屋や長年休耕地だった畑に手を入れながらひとりで暮らし始める。自分で選んだ、さらなる田舎において、文哉の望む自給自足的な暮らしは果たして実現できるのか？ベストセラー「海が見える家」シリーズの新たな章がスタートする！



◆はらだみずき
千葉県生まれ。2006年「サッカーボーイズ」再会のクラウドファンディングでデビュー。『海が見える家』シリーズがベストセラーに。

3月6日発売
定価：803円(税込)
文庫／336ページ
ISBN978-4-09-407338-6

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407338>

小学館文庫

ゴースト・ポリス

佐野 晶・著

桐野哲也は東北大学法学部を卒業後、地方公務員採用で警察官となった。彼が仮配属された神奈川県藤沢市辻堂にある鳩裏交番は、おそろしいほど美男の班長・小貴幸也をはじめ、ごんぞう——自主的窓際警官ばかりが集まった交番で、緊急配備の連絡にさえ誰も反応しない。県警で厄介者扱いされているごんぞうたちの好物は巡回連絡で、世間話ばかりしている。その平穩を脅かすかのようにホームレスばかりを狙った連続殺人事件が発生した。小貴と桐野は近隣住民の協力を得て、真相に辿り着くが……。

第一回警察小説大賞、満場一致の受賞作！



◆佐野 晶(さの あきら)
東京都中野区生まれ。『そして父になる』『三度目の殺人』『怪物』などの映画ノベライズを手がける。2019年、本作で第一回警察小説大賞を受賞しデビュー。

3月6日発売
定価：891円(税込)
文庫／400ページ
ISBN978-4-09-407339-3

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407339>

小学館時代小説文庫

日輪草 泥濘の十手

麻宮 好・著

芸者衆が料理屋で着物を披露し合う衣装競べの最中、毒殺が起こった。偶然店にいた岡つ引きのおまき、大店の跡継ぎ亀吉、博学の要は探索に奔る。手がかりは亡骸が握っていた饅頭に潜む黄色い粉。が、探索は進まず、同心の飯倉も姿を見せない。焦る中、地本問屋の春木屋仁右衛門が現れる。絵の巧い亀吉と算術が得意な要に算術絵本を造らせたという。店まで連れて行かれたふたりは料理屋で見かけた少女ひなと再会する。絵心あるひなも仁右衛門に呼ばれたらしい。心躍る亀吉だったが、探索が思いもしない方へ動き出す。予想外の真相に胸が震える感動の第二弾！



◆麻宮 好(あさみや こう)
群馬県生まれ。2020年、第一回日本おもしろ小説大賞佳作「月のスーパのつくりかた」を改稿し、デビュー。22年、『泥濘の十手』で第一回警察小説新人賞を受賞。

3月6日発売
定価：902円(税込)
文庫／416ページ
ISBN978-4-09-407340-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407340>

小学館文庫(キャラクターン！)

身代わり皇帝の憂鬱

松田詩依・著／Nikrome・イラスト

大國朝陽の天帝(皇帝)・暁明がひと月後の七夕の夜に死ぬという占いの結果が出た。後宮のオトコマエ侍女・麗霞は「お前が天帝を守れ」と皇后に命じられ任に就くが、またしても暁明と中身が入れ替わってしまい……。

定価：682円(税込) 240ページ
ISBN978-4-09-407341-6
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407341>

帝都の隠し巫女

終一葉・著／條・イラスト

辛い生活から抜け出すため、帝都一と評判の呪術医・泉の屋敷で押し掛け使用人になった没落華族令嬢の瑠璃。陰陽師を襲うあやかしが存在によって、両親の死にまつわる真実が明らかに!? 明治陰陽ファンタジー第二弾。

定価：704円(税込) 288ページ
ISBN978-4-09-407342-3
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09407342>
3月6日発売 文庫判

File

File

File

file

file

File

File

File

File